

**働きやすい環境を整える。**

なるためには



●必要資格 / 特になし  
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→鉄道車両、建設機械などを製造する企業に就職→研修で製造現場を経験→管理部に配属

戸田明里さん (1996年生まれ)  
名古屋経済大学市郷高校出身  
金城学院大学 人間科学部卒業

## 日本車輌製造株式会社

名古屋市熱田区三本松町1-1  
<https://www.n-sharyo.co.jp/>

「高校生活一番の思い出は部活動。テニス部に入り、インターハイ出場をめざして練習に取り組みました。3年のときには副キャプテンを任せられました。一人ひとり個性の違うメンバーと同じ目標に向かってまとめる力を養うことができたと思います。部活から学んだのは、相手に合わせた意見の伝え方。普段のコミュニケーションが大切だということを実感しました」

「大学時代について教えてください。大学で学んだのは、障害者スポーツや地域福祉など。生活保護受給者に対する自立支援について学んだり、炊き出しボランティアに参加して何に困っているのかを実地調査をしたりしました。就活で軸にしたのは、人の生活に欠かせない衣食住に関わる仕事。食料品関係、アパレル、インフラなどを幅広く見るなかで、私が選んだのは日本車輌製造。新幹線(鉄道車両)や橋梁(インフラ)、杭打機、建設機械など、全国どこに行つても日本車両の製品を目にする機会があります。そこに魅力を感じて入社を決意しました」

### ー 仕事について

「入社後の研修では、工場内の各部署の生産ラインに配属され、実際に現場で機械加工や組み立て、検査、溶接などをおこないました。覚えることは多かったです。初めてのことばかりだったので楽しかったです。研修後は管理部に配属され、OJTで仕事を覚えていきました。



18歳 テニス部副キャプテンを務め、インターハイ出場をめざす。

22歳 大学では福祉について学ぶ。卒業後、日本車輌製造に就職。

26歳 管理部に配属。経理業務や新入社員教育を通して、働きやすい環境を整える。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



ありがとうございました。

「大学で学んだのは、障害者スポーツや地域福祉など。生活保護受給者に対する自立支援について学んだり、炊き出しボランティアに参加して何に困っているのかを実地調査をしたりしました。就活で軸にしたのは、人の生活に欠かせない衣食住に関わる仕事。食料品関係、アパレル、インフラなどを幅広く見るなかで、私が選んだのは日本車輌製造。新幹線(鉄道車両)や橋梁(インフラ)、杭打機、建設機械など、全国どこに行つても日本車両の製品を目にする機会があります。そこに魅力を感じて入社を決意しました」

「広報の仕事では、各製作所と本部との情報のパイプ役を担っています。社内報を通して、どこの製作所で開発された新しい技術が共有されたら、それを機電本部の設計や製造担当者に伝え、より良い製品づくりにつなげていきます」

### ー やりがい

「営業のように数字で成果がわかる部署ではありませんが、『管理部がサポートしてくれたおかげで、他部署とスムーズに連携できたよ』『この資料が役立った。ありがとう』といった感謝の言葉がやりがいにつながっています」



大型杭打機

### ー メッセージ

「管理部は、いろいろな部署とやりとりをしたり、社外の窓口になつたりします。円滑に仕事を進めるうえでコミュニケーション力が求められます。学生時代は、興味をもつたことに挑戦してほしいです。そうすることによって知識の幅が増えますし、挑戦したことは財産、経験にもなります。社会に出てからも常に挑戦の連続ですよ。私は部活でも常に上をめざしていくために、どのような練習が必要なのかを常に考えていました。自然と挑戦するマインドが養われていたと思います」

**素材の配合、加熱温度や圧力を調整し、お客様の様々な要望に応える。**



写真1

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→自動車用ゴムホースの製造などを  
おこなう企業に就職→製造部に配属

**本多晶哉**さん (2001年生まれ)

菊華高校 出身

**住友理工株式会社**

小牧市東3-1

<https://www.sumitomoriko.co.jp/>

高校時代の思い出は、サッカー部に所属して部活に励んだことです。

そこで、

「特に必要な資格はありません。知識や技術はあとからついてくるので、やる気があれば誰でも活躍できる職場だと思います。私もゴムの知識や製造技術は一から覚えていました。仕事をするなかで新しい発見をすることもあります。それ

も『とりあえずやってみる』という気持ちが大切ですね。社会に出ると幅広い世代の方と一緒に働くことがあります。高校生活を通して上

関係、言葉づかいや礼儀を学んでいたいです」

私は、高校卒業後、住友理工に就職。ゴムの知識、製造技術を身につけることを目標としています。従業員の模範となる

立派な人間になりたいです。過酷な仕事の中でも、まわりについている表情を見せないよう

うにして、『疲れました』『しんどい』といったネガティブな発言は見せません。十気を下げるの

でしないようにしています。私は、『自分たちの舞いができる人間になりたいです』

と、自分たちの舞いができる人間になりたいです。過酷な仕事の中でも、まわりについている表情を見せないよう



18歳

サッカー部のキャプテンを務め、大勢の部員をまとめる。

19歳

高校卒業後、住友理工に就職。ゴムの知識、製造技術を身につける。

21歳

従業員の模範となる立派な人間を目指す。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



## ー学生時代

「高校時代の思い出は、サッカー部に所属して部活に励んだことです。

そこで、

「特に必要な資格はありません。知識や技術はあとからついてくるので、やる気があれば誰でも活躍できる職場だと思います。私もゴム

の知識や製造技術は一から覚えていました。仕事をするなかで新しい発見をすることもあります。それ

も『とりあえずやってみる』とい



## ーメッセージ

「特に必要な資格はありません。知識や技術はあとからついてくるので、やる気があれば誰でも活躍できる職場だと思います。私もゴム

の知識や製造技術は一から覚えていました。仕事をするなかで新しい発見をすることもあります。それ

も『とりあえずやってみる』とい

**豊田スタジアムを超満員にするため、集客の仕組み作りやチケット企画を提案。**

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→メディアについて学ぶ→サッカーチームに就職→マーケティング部に配属



ON.G.E.

**田中葵衣**さん(1995年生まれ)  
愛知淑徳高校 出身  
立命館大学 産業社会学部卒業

**株式会社名古屋グランパスエイト**  
名古屋市東区泉1-23-22  
<https://nagoya-grampus.jp/>

### ー 学生時代

「中高一貫校で6年間、友達と充実した毎日を過ごしました。中学も高校もダンス部の部長を経験。高校生のときは生徒会長も経験しました。先生や友達に助けてもらいながら、学生時代はとにかくやりたいことをやっていたという印象です。高校卒業後は、立命館大学産業社会学部メディア社会専攻に進学しました」

### 大学時代について教えてください。

「雑誌やテレビ、新聞、SNSなどの様々なメディアが社会に及ぼす影響について勉強しました。今でも役

アリテラシーについて学んだことがあります。SNS上で得た情報をすべて事実として受け止めるのではなく、自分の目でリソースを見つけるとする視点を養うことができました」

### ー 仕事について

「ストリートダンスをずっと続けていて、表現者としてステージに立てていたこともあり、その裏方の仕事を興味をもちました。中でもコンテンツを作ったり発信したりするコンテンツホルダーとしての仕事に興味をもち、人と人をつなぐエンタメ業界を志望しました。大学卒業後はJリーグのチケット販売関係の仕事を経験し、現在は名古屋グランパスエイトのマーケティング部で働いています」

「4万人収容の豊田スタジアムを満員にすることが私の仕事です。対戦



### ー メッセージ

「言葉選びが素敵な人、立ち振る舞いがきれいな人、みなさんにはそんな人になつてほしいです。学生時代は、いろいろな組織やコミュニティに参加し、人のコミュニケーションの部分をしっかりと学んでください。私も、各種ご案内の文書に思いをしつかり乗せられていて、お客様の熱い思いを汲み取ってイベントで還元できているかを常に意識しています。文字や会話に馴染らず、どんな仕事でもいいコミュニケーションをとれるかが大事だと思います。たとえば、女性ファンが多く呼ぶための企画として、6月はガールズフェスタを開催しました。先着8000名の女性にガールズユニフォームをプレゼントしたところお客様に楽しんでもらえるかを考えて、様々なチケット企画をしています。たとえば、女性ファンを常に意識していまます」

ありがとうございました。



18歳 中学高校とダンス部に所属し部長を経験。卒業後、立命館大学へ。

▼  
22歳 メディアについて学ぶ。ダンスの経験からエンタメ業界に興味をもつ。

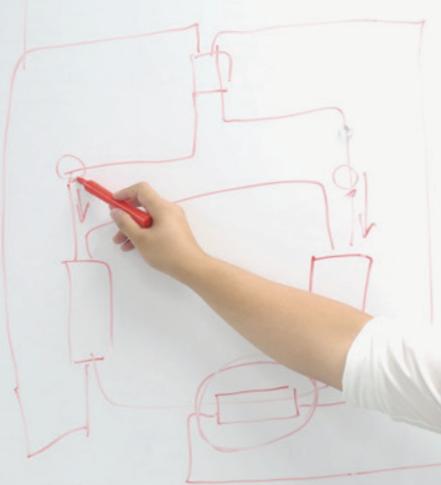
▼  
27歳 ファンのみなさんの笑顔や熱い思いをモチベーションにして、豊田スタジアムでの試合を盛り上げる。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



みんなの意見を積み重ね、  
技術で世界をよりよくしていく。



坂野力さん(1997年生まれ)

名古屋市立工芸高校 出身

中部大学 工学部ロボット理工学科卒業

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→ロボット理工学系の大学に進学→電気電子、機械、物理など幅広い分野を学ぶ→エンジニア派遣サービスをおこなう企業に就職→メカエンジニア

## 株式会社メイテック

東京都台東区上野1-1-10 オリックス上野1丁目ビル  
<https://www.meitec.co.jp/>

## —学生時代

「高校時代の思い出は、堀川エコロボットコンテストやロボット競技大会に参加したこと。課題に対してもどういう解決策があるかを考え、ロボットを作り、みんなで何かを作れるおもしろさ、難しさを感じました。ロボットに興味をもつたのは、アニメやゲームがきっかけ。工芸高専の情報科に進学したのも、ロボットを動かすにはプログラムの知識が必要だと思ったからです」

**大学時代について教えてください。**  
卒業後、中部大学に進学しました。ロボット理工学科が新設されたばかりの時です。電気電子だけでなく、機械や物理など、ソフトもハードも幅広く学べるところに惹かれました。実際に大学では、3DCAD、プログラム、電子基板の作成、材料力学や流体力学など力学の知識、物理の知識などを幅広く学びました。2年次にはエンジニア職を志望していました。ただ、メーカーに勤めるとなると、仕事の幅がある部屋異動くらい。学んできた幅広い分野の知識をいかしたいと思っていたので、企業をまたいでいろいろな経験ができるところに惹かれ、エンジニア派遣サービスをおこなうメイテックに就職しました」

——仕事について  
最初にエンジニアとしての心構えを学びました。大学時代は、研究もひとりで黙々と取り組む感じでした。でも仕事はみんなで協力し、目的をもって取り組む必要がありま

す。その際には、ほうれんそう(報告連絡相談)が大切だということを学びました。あと、設計には答えがない、上司が明確な答えをもつていてわけでもありません。自分の考えをしっかりともつこと、意見を相手に伝えることの大切さも学びました」

「みんなの意見を積み重ね、技術で世界をよりよくしていくことがエンジニアの仕事だと思います。現在は、半導体を製造する装置の筐体(きょうたい)設計・保守をしています。ある装置の中で、私が担当しているのは風と水で温度を管理する温度調節器という装置。CATIAという3DCADソフトを使って、装置の外装部分、中の配管の引き回しの設計をおこなっています」

——メッセージ  
は自分が将来どんな分野で活躍したいのかを考え選んでください。高校時代は、少しでもやりたいと思ったことは挑戦してみてください。まず、いろいろなことに興味をもって調べるところから。スマホで少し調べるだけでも、世界の広さに気づけると思います」

ありがとうございました。」

——やりがい  
「部品一つひとつには、先人のエンジニアが積み上げてきた意図があります。それを受け継ぎつつ、自分の意見を反映して、装置をよりよくすることが使命。精度がよくなつたり、問題が解決できたり、データなどで目に見えて成果がわかるとうれしいですね」



18歳

ロボットコンテストなどに出場。卒業後は、中部大学ロボット理工学科へ。

22歳

電気電子、機械、物理など、幅広い分野について学ぶ。メイテックに就職。

25歳

自分の意見をしっかりともち、エンジニアとして日々の仕事に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>

## —メッセージ

専門的な知識は職場によって変わってくるので、学ぶのは入社してからでも遅くはないです。ワード、エクセル、パワーポイントなどオフィス系のソフトは基礎として使えた方がいいですね。進学先の学科は、自分が将来どんな分野で活躍したいのかを考え選んでください。

高校時代は、少しでもやりたいと思ったことは挑戦してみてください。まず、いろいろなことに興味をもって調べるところから。スマホで少し調べるだけでも、世界の広さに気づけると思います」



何かやれば、何かが必ず起ころ。

**西尾樹里**さん(1984年生まれ)

名古屋市立緑高校 出身

愛知淑徳大学 文化創造学部(現:創造表現学部)卒業

OISY!!

名古屋市守山区大永寺町292

<https://oisyyy.wixsite.com/oisy>

なるためには

●必要資格 / 特になし

●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→料理教室でアルバイトをしながら、自身の料理教室を主宰する→キッチンスタジオをオープンして独立

ー 学生時代

「ほかの人と同じは嫌だ。何か違うことがしたい。多数派よりも少数派になりたい」という思いが、偏屈な人っ子の私のベースにずっとあって、写真部との出会いが救いでいた。2年生で部長になり、顧問もい先生で楽しかったです。フィルムの現像得意で、コンクールでも何か受賞しました。クリエイティブな道に興味が芽生え、進路選択につながり今の仕事にもいきています」

「愛知淑徳大学の文化創造学部では短歌・小説・評論・童話などのいろいろな表現を学びました。講義の中には、自分の好きな「ミニック」の分析もありましたね。ゼミの研究テーマは、「目に見えないものを見る」本質とは何かを考える。詩や小説、絵本を思想の部分から生み出すことが面白くて大好きでした。就活はざっくりとしたクリエイティブな仕事に惹かれ、広告・マーケティング業界を志望。自動車メーカーの取扱説明書・修理書などのマニュアルを主に制作する会社に入りました」

ー 仕事について

「新規事業部に配属され、毎回誰もやつたことのないプロジェクトをみんなで頑張る会員生活の4年弱で、かなり鍛えられました。家具職人である夫との出会いを機に、「自分でできたらいいな」と食への興味が募り、独学で研究開始。平日は料理教室でのアルバイト、週末は自宅で料理教室の経験を積み、

ー やりがい

「コンテンツが料理なので、『おいしい』と言つてもらえたたら、それがすべて。だから、屋号もわかりやすい『OISY!!(おいしい)』です。老若男女のジャンル関係なく、みんなが絶対ごはんを食べますし、おいしいものを一緒に食べたら、一体感が出て仲良くなるんです。そういう風景があるなって思います」

キッチャンスタジオのオープンとともに開業しました」

ー 仕事内容について教えてください。

「料理教室はみんなで気軽に料理を学ぶスタイルで日々を重ね、10周年を迎えるにあたり、これまでの活動も振り返りました。今はもっと視野を広げて、みんなで食事を楽しむ!にシフト。料理教室みたいなお食事会をレッスンとして、月替わりの食卓を楽しむ場所づくりをめざしています。食にまつわるモノコトを創造することにも面白さを感じ、メニュー



ー メッセージ

「やりたいと思つたことは、すぐには全部やつてください。しかも、この『すぐ』は結構大事。すぐできないのが人間なんんですけど、やりたいことが変わつてきます。やりたいことがない人は、とにかくいろいろな人に会つてしまつては、友達、知り合い、先輩、家族のリアルなつながりの人があつてきてくれる楽しい話こそ、価値がある気がします」

ありがとうございました。

18歳 写真部をきっかけに、クリエイティブ思考と表現を学べる大学に進学。

27歳 4年弱バリバリ働いた会社を辞めて、料理教室を生業とする起業に挑む。

37歳 料理教室10周年を迎えて新展開へ。「きまぐれちゃん惣菜店」を開店。



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>





コーヒーの楽しさを伝えながら、お客様の生活をより豊かにする。



嶋勇也さん(1982年生まれ)

名城大学附属高校 出身  
国際調理師専門学校 卒業

### Q.O.L.COFFEE

名古屋市中区丸の内3-5-1 マジマビル  
<https://qolcoffee.com/>

なるためには

#### ●必要資格 / 特になし

●主な進路 / 高校卒業→専門学校に進学→カフェや喫茶店で働く→フィリピンへ語学留学→メルボルンでコーヒーを学ぶ→帰国して1年後にロースターカフェ&ギャラリーを開業

何かひとつもの極めたくて、

「何かひとつもの極めたくて、コーヒー業界で有名な企業に就職。休憩中に飲んだスペシャリティコーヒーが過去に飲んだコーヒーとはまったく異なる味わいで、よりコーヒーのことを知りたくなりました。最初は工場で箱詰めを。数ヶ月後、店舗に配属されました。店長も務めて計8年在籍。その後、エスプレッソマシンを触れる場所で働き始まり、自家焙煎珈琲店に転職しました。バリスタやキッキンとして働いていると、海外のコーヒー事情も調べるようになり、知れば知ほど日本が遅れていると感じました。海外で働いてみたいという気持ちが高まり、フィリピンでの語学留学を経てメルボルン(オーストラリア)へ。仕事が決まるまで苦労しましたし、コミュニケーションに頭を使っていたので、英語圏で働く難しさを痛

考えるようになったとき、幼いころに親に連れて行った喫茶店で実際に運営が好きだったことを思い出したのと、好きな漫画の中で素敵に描かれていた喫茶店がリンクしたことから、喫茶店を開きたいという気持ちが強くなりました。夢に近づくためには技術が必要。専門学校に進学して調理を専攻しました」

#### ――仕事について――

「コーヒーを軸に、お客様の生活をより豊かにするお手伝いをしてい

ます。具体的には、店舗運営や品質管理、人材育成などが主な仕事。生産者さんから豆を仕入れて焙煎するところから1杯のコーヒーをお客様に届けるところまで、すべてに責任をもってやっています。もっと

「コーヒーを軸に、お客様の生活を

より豊かにするお手伝いをしてい

ます。具体的には、店舗運営や品質

管理、人材育成などが主な仕事。生

産者さんから豆を仕入れて焙煎す

るところから1杯のコーヒーをお

客様に届けるところまで、すべてに

責任をもってやっています。もっと

街にコーヒーの魅力を広めるため、

今後は人と社会とのつながりを生

むことをもっとやりたいです」

――やりがい――

「お客様にコーヒーやお店、スタッフのことを気に入つていただけて、再来店していただけるとうれしく思います。最近は、生産者さんや県外のバリスタさんと仲良くなり、イベントに呼んでもらえるので、そういうつながりがエネルギーにもつなっています」

――メツセージ――



18歳 専門学校で調理を専攻。飲食のアルバイトもしながら技術を習得。

23歳 スペシャリティコーヒーと出会い、衝撃が走る。コーヒーの道へ進む。

36歳 コーヒーを学びにメルボルンへ。帰国後、「Q.O.L.COFFEE」を開業。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



#### ――学生時代――

中学・高校時代はバスケに熱中していました。「実業団に入らないか」と声をかけていただきましたが、現実からかけ離れてすぎて職業にするのは違うなど。将来のことを真剣に考えるようになったとき、幼いころに親に連れて行つてもらった喫茶店の空気感が好きだったことを思いました。将来のことを真剣に考えるようにになったとき、幼いころに親に連れて行つてもらった喫茶店の空気感が好きだったことを思いました。将来のことを見直すのではなく、自分の技術が不足していると感じました。そこで、専門学校に進学して調理を専攻しました。

「中学・高校時代はバスケに熱中していました。「実業団に入らないか」と声をかけていただきましたが、現実からかけ離れてすぎて職業にするのは違うなど。将来のことを真剣に考えるようになったとき、幼いころに親に連れて行つてもらった喫茶店の空気感が好きだったことを思いました。将来のことを真剣に考えるようにになったとき、幼いころに親に連れて行つてもらった喫茶店の空気感が好きだったことを思いました。将来のことを見直すのではなく、自分の技術が不足していると感じました。そこで、専門学校に進学して調理を専攻しました。

「中学・高校時代はバスケに熱中していました。「実業団に入らないか」と声をかけていただきましたが、現実からかけ離れてすぎて職業にするのは違うなど。将来のことを真剣に考えるようになったとき、幼いころに親に連れて行つてもらった喫茶店の空気感が好きだったことを思いました。将来のことを真剣に

考えるようにになったとき、幼いころに親に連れて行つてもらった喫茶店の空気感が好きだったことを思いました。将来のことを真剣に考えるようになったとき、幼いころに親に連れて行つてもらった喫茶店の空気感が好きだったことを思いました。将来のことを真剣に

考えるようにになったとき、幼いころに親に連れて行つてもらった喫茶店の空気感が好きだったことを思いました。将来のことを真剣に

考えるようにになったとき、幼いころに親に連れて行つてもらった喫茶店の空気感が好きだったことを思いました。将来のことを真剣に

考えるようにになったとき、幼いころに親に連れて行つてもらった喫茶店の空気感が好きだったことを思いました。将来のことを真剣に

いろいろな人と接点をもつて進める仕事。  
すべての経験が自身の財産に。



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→裁判所職員採用試験（家庭裁判所調査官補）に合格→裁判所職員総合研修所で2年間の研修を受ける→家庭裁判所調査官

川初梓さん(1985年生まれ)

名古屋市立名東高校 出身  
名古屋市立大学 人文社会学部卒業

## 名古屋家庭裁判所

名古屋市中区三の丸1-7-1  
<https://www.courts.go.jp/nagoya-f/>

## ー学生時代

「調査官の仕事を知ったのは高校生のとき。非行少年について書いてある本を読んだのがきっかけです。それまで犯罪なんて遠い世界のことのように感じていました。でも、少年たちの苦しさ、非行に走る背景などを知り、漠然とそういう人たちの役に立つ仕事がしたいと思うようになりました」

### 大学時代について教えてください。

「心理学を学ぶため、名古屋市立大学人文社会学部に進学しました。印象に残っているのは、仮説を立てて実験計画を考え、結果をもとに考察をする講義。少年がどうして非行に走ったのか仮説を立てて調査し、集めた情報をもとに分析するという現今の仕事に通じる部分があります。3年次から試験対策を始め、専門書を買って過去問題を解いたり、予備校に通つたりしました」

## ー仕事について

「裁判所職員採用試験に合格し、2年間の研修を受けました。研修所では、法律学や心理学、教育学などを学びました。その後、指導担当者についてOJTで実務を学びます。少年たちが抱えている悩みに直面し、当初は感情を揺さぶられることも多かったですね」

### 仕事内容について教えてください。

「私は現在、主に少年事件を担当しています。少年事件の場合は、事件記録をもとに少年や保護者、関係者との面接をおこないます。少年が非常に至った原因や背景を調査し、生



活環境を変える、仕事を探すなど、少年が立ち直るために必要な方策の見通しが立った段階で裁判官に報告します。この調査報告にもどついて、少年の更生、事件の解決に向けた審判をおこないます。離婚や家庭内の紛争などの家事事件の場合には、当事者同士の発言を聞いて解決の糸口を探していきます」

「非行少年を面接する際は、自分が初めて対話をする大人になるかもしないといった意識を忘れないようになっています。聞いたら答えてくれることに対して感謝の気持ちを伝えるようにしています。今までの大人と同じだと思われない関係性を築くことが大切です」

「裁判所職員採用試験・家庭裁判所調査官補)に合格し、2年間の研修を積むと正式に家庭裁判所調査官として働くことができます。心理学出身の人だけでなく、法律学、教育学社会学出身の人もたくさんいます。調査官はいろいろな人と接点をもつて仕事を進めるので、どのような経験も仕事の役に立ちます。ぜひ学生時代から、いろいろな人とコミュニケーションをとつてください。あとは、漠然とでもいいので将来の自分を想像し、後悔のない学生生活を送つてほしいです」

## ーメッセージ

## ーやりがい

- 18歳 非行少年に関する本を読み、漠然と将来の進路を考えはじめる。
- ↓
- 23歳 名古屋市立大学に進学し、心理学を学ぶ。裁判所職員採用試験に合格。
- ↓
- 37歳 非行少年一人ひとりに対して自分ができることを探しながら、日々の仕事と向き合う。

高校卒業



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



**成功体験の積み重ねを原動力に  
常に進化するIT分野で挑戦し続ける。**

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→Sky株式会社入社



岡村康平さん

愛知工業大学名電高校 出身  
名古屋学院大学 外国語学部卒業

### Sky株式会社(名古屋支社)

名古屋市中村区名駅1丁目1番1号 JPタワー名古屋 39階  
<https://www.skygroup.jp/>

### ー学生時代ー

「自転車競技部に所属していく、部活動一筋の高校生活を送っていました。通学も自転車でしたし、授業後も自転車に乗って練習したりと自転車のことばかりが思い出されます。今も休みの日はサイクリングに行くので体力には自信があります」

### 大学時代について教えてください。

「名古屋学院大学に進学した理由は、留学のカリキュラムがとても魅力的に感じたからです。私の場合は1年間休学して、アメリカのポートランドという町に留学しました。海外旅行にはよく行っていましたが、英語がしゃべれるわけではなかったので留学中は語学などに苦労しました。右も左もわからない状況で、試行錯誤しながらコミュニケーションを取っていたことを覚えてます。自分の伝えたいことが伝わったときはうれしかったですし、こうした小さな成功体験の積み重ねが自分の自信にもつながっています」

### ー仕事についてー

「Sky株式会社を知ったのは、大学構内でおこなわれた説明会に参加したことがきっかけです。Sky株式会社には、ALL SKYという困難な課題に対してもポジティブに社員全員で協力して取り組む文化があります。ITの知識はまったくなかつたのですが、新しいことに挑戦することが好きな自分にとってALL SKYがとても魅力的に感じたので入社を決めました」

### ーやりがいー

「私は、新しい環境に飛び込むことや新しい知識を得たい気持ちが常にあります。ITの世界はどんどん進化していくため、常に新しい技術や情報を習得するのが楽しいです。まだまだ自社商品に関する知識は乏しいですが、お客様への提案の際に良い評価を得られたときにはうれしく思います。また、提案後は、自身で構築をおこない、運用が開始されるのですが、お客様の会社に訪問した際に、「導入して良かった」と直接お言葉をいたただくこともあります。そんなときは、今までのつらかったことなどが一瞬で

ClientといったシーケンティアルシステムやSKYSEA Client Viewといったソフトウェアを提案したり、導入作業や導入後の保守をおこなうなど営業のような役割もあります。お客様にネットワーク分離環境で安全かつ便利にPCをご利用いただくため、SKYDIV Desktop

「私はプリセールスエンジニアです。SEのような肩書ですが、技術的な立場から自社商品の提案をおこなうなど営業のような役割もあります。お客様にネットワーク分離環境で安全かつ便利にPCをご利用いただくため、SKYDIV Desktop



### ーメッセージー

「今は大学に進学することや就職のことで悩んでいる方も多いと思いますが、将来の自分を想像して、どういった自分に向けて突き進んでください。あとは、勉強や部活、学校行事など、今しかできないことを全力で楽しんでください。学生時代の思い出は社会人になっても振り返ることが多いですよ！」

ありがとうございました。

吹き飛びますね。幅広く活躍ができるプリセールスエンジニアに向けて、もうやりがいを感じています」



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



18歳

22歳

24歳

直選年

部活動一筋の高校生活を過ごす。挑戦すること、努力をして目標達成するよろこびを体感する。

アメリカのポートランドへ留学する。慣れない英語でコミュニケーションを取ることで小さな成功体験を得る。

常に新しい知識と情報を学びながらIT業界で活躍中。

何に対しても興味をもち、  
深掘りすることで新しい発見につなげる。



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→材料工学について学ぶ→熱エネルギー機器の製造販売をおこなう企業に就職→製造工程設計

**岩田典子**さん(1998年生まれ)

瑞陵高校 出身

名古屋大学 工学部卒業

**リンナイ株式会社**

名古屋市中川区福住町2-26

<https://www.rinnai.co.jp/>

面もあります」

「最初は工場実習から始まります。どういう作業をして、どういう流れでひとつつの製品ができるがっていなかを現場で学びます。私はガスコンロを製造する部署で、部品の組み付け、梱包作業などを経験しました。そこで知り合った方と、今でも仕事のやりとりをする機会があります。自分がやりづらかった作業や使用した設備など、研修時代を振り返って現在の仕事の参考にする場面もあります」

「最初は工場実習から始まります。どういう作業をして、どういう流れでひとつつの製品ができるがっていなかを現場で学びます。私はガスコンロを製造する部署で、部品の組み付け、梱包作業などを経験しました。そこで知り合った方と、今でも仕事のやりとりをする機会があります。自分がやりづらかった作業や使用した設備など、研修時代を振り返って現在の仕事の参考にする場面もあります」

「最初は工場実習から始まります。どういう作業をして、どういう流れでひとつつの製品ができるがっていなかを現場で学びます。私はガスコンロを製造する部署で、部品の組み付け、梱包作業などを経験しました。そこで知り合った方と、今でも仕事のやりとりをする機会があります。自分がやりづらかった作業や使用した設備など、研修時代を振り返って現在の仕事の参考にする場面もあります」

「最初は工場実習から始まります。どういう作業をして、どういう流れでひとつつの製品ができるがっていなかを現場で学びます。私はガスコンロを製造する部署で、部品の組み付け、梱包作業などを経験しました。そこで知り合った方と、今でも仕事のやりとりをする機会があります。自分がやりづらかった作業や使用した設備など、研修時代を振り返って現在の仕事の参考にする場面もあります」



### —学生時代

理系クラスだったので、海で磯生物の観察をしたり動物園に行つたり、学校外でおこなった日帰りの実習が印象に残っています。高校卒業後は、名古屋大学物理工学科に進学しました

「大学時代について教えてください。」

「1年次は、金属などの材料に力を加えるとどう変化するのか、その特性を工業的にどういかせるかなどを学びました。学ぶ分野が材料工学、量子エネルギー工学、応用物理学の3つのコースに大きく分かれています。私は材料工学に進みました。金属を加工したり工作機械を使つた実習が多かったです。就職活動では『地元で就職したい』『工学部で学んできたことをいかしたい』という思いから、ガスコンロやガス給湯器など熱エネルギー機器の製造販売をおこなうリンナイに就職しました。生活に必要な製品を扱っていたことも決め手のひとつです」

「私は自身まだ工程設計の経験が浅いので、今は先輩について勉強の日々です。そのなかで、何に対しても『なんで?』と疑問をもつことを心がけています。いろいろなことに興味をもつて深掘りしていくと、新しい発見や気づきにつながるんです。その気づきが設計に役立つ場面があるので、常に考えることを忘れないうようにしています」

「私は理系クラスを選択し、学校外で様々な実習を経験しました。材料工学について学ぶ。大学卒業後、リンナイに就職。コスト削減や工数削減をめざし、様々なアイデアを出しながら製造工程を考えます。自分がやりづらかった作業や使用した設備など、研修時代を振り返って現在の仕事の参考にする場面もあります」

### —メッセージ

「特別な知識や経験は必要ありませんが、論理的に筋道を立てて考えられる人に向いている仕事だと思いません。様々な調査をしてデータを見ながら仕事を進めるので、エクセルやパソコン操作に慣れている人に向いている仕事かもしれません。学生時代は、部活や学校行事を全力で楽しんでください。学生時代に真剣に取り組んだことって、きっと一生の思い出になると思います。私にも大切な思い出がたくさんあります。一度しかない学生生活、そこへ得た経験を大事にしてください」

「ありがとうございます!」



18歳

理系クラスを選択し、学校外で様々な実習を経験。

↓

22歳

材料工学について学ぶ。大学卒業後、リンナイに就職。

↓

24歳

コスト削減や工数削減をめざし、様々なアイデアを出しながら製造工程を考える。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



人が集まる交流の場をつくるよろこび。  
小さな子からおじいちゃんまで、



中富紗穂さん(1993年生まれ)

松蔭高校出身  
金城学院大学 国際情報学部卒業

## Hisaya-odori Park デザインセンター

名古屋市東区泉1-23-36 NBN泉ビル6-A  
<https://rhp.nagoya/>

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→パークボランティアに参加→「Hisaya-odori Park デザインセンター」で働く(正社員or業務委託)

なるためには  
「2年生の文化祭で私の企画が採用され、当日まで夢中になって準備したのが思い出です。結果、アイデア賞をいただき、クラスのみんなが『文化祭委員と一緒に表彰状を取りに行きなよ』と言つてくれて、ありがとうと寄せ書きした色紙ももらいました。頭に浮かんだもの形にして、みんなが楽しんだり、よろこんだりしてくれることが好きだし、得意かもって気づいた出来事です」

**大学時代について教えてください。**  
「金城学院大学国際情報学部は、全員参加の体験型海外研修「K-T」に惹かれて志望しました。3年生のときにゼミの恩師、佐藤奈穂先生におちゃんと出会い、今でも仲良くさせていただいています。研究対象のカンボジアで村の人々の声を元に、現地の女の子と日本の女の子と一緒に創りあげるアクセサリー「DIAGIRL」をスタート。今もゼミで続く活動になり、8年目を迎えてます」

**――仕事について――**

「大学卒業後は、ソーシャルビジネスに挑戦できる会社に就職し、新卒2年目で起業しました。20代で正社員、代表取締役、メンタルヘルスンとして休職・無職・アルバイトを経験。そのなかで農業の魅力に触れ、都会で作物を育てるアーバンファーミングの活動がしたくて、Hisaya-odori Park[※]でおこなわれたSDGs映画祭の参加をきっかけに公園管理運営の一員になりました」

「公園に集まる方たちとのコミュニケーションが一番楽しいです。たとえば毎月10日のマーケットにはいつもご近所のご夫婦が来てくださって。芝生の清掃に飛び入り参加してくれた80歳のおじいちゃんが、『いい公園だね』と言われる『いい』は人それぞれ違う、それぞれの

交わる瞬間が日常的に生まれるのは公園ならでは。そんな場づくりに関われて幸せな気持ちになります」

「大切なのは世の中の『いい』ではなく自分の『いい』を知ること。自分に合うことや好きなことはどれかって考え、自分で選び取ることで、そのアンテナを研ぎ澄ませるために、何でも挑戦するは若ければ若いほどいいと思います。何に夢中になつてワクワクするかは、やつてみるとわかりません。公園でボランティアやイベントに参加し、いろいろ試してもらうのも大歓迎です」

**――メツセージ――**

「Hisaya-odori Park」は日本最大級のPark-PFI制度を活用した新しい公園で、園内に商業施設があります。私の仕事は、野外映画上映会やマーケットなど自主事業のイベント企画運営。南北約1kmにわたる長い公園で、訪れた人が緑豊かな場所と買い物や食事を楽しんでもらえるように、SNSの発信やフリーペーパーの発行、販促、回遊する仕組みづくりも重要な役割です」

「人生に大きな影響を与える“おおちゃん”的なゼミで、『DIAGIRL』を始動。就活せずソーシャルビジネスの社会起業家を輩出する会社に入り、上京。農的暮らしに興味をもち、地元名古屋にリターン。新しい公園づくりに励む。いつもご近所のご夫婦が来てくださって。芝生の清掃に飛び入り参加してくれた80歳のおじいちゃんが、『いい公園だね』と言われる『いい』は人それぞれ違う、それぞれの楽しみ方をしながら誰かや何かと



20歳

人生に大きな影響を与える“おおちゃん”的なゼミで、『DIAGIRL』を始動。

22歳

就活せずソーシャルビジネスの社会起業家を輩出する会社に入り、上京。

28歳

農的暮らしに興味をもち、地元名古屋にリターン。新しい公園づくりに励む。

貢献年

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>